

平成25年5月29日

平成24年度表彰について

公益社団法人 におい・かおり環境協会
表彰委員長 深 澤 修

平成24年度の表彰を平成25年度定期総会懇親会において行うこととし、機関誌「におい・かおり環境学会誌」（平成24年9月号）および協会ホームページへの掲載により会員から表彰候補者推薦募集を行った。推薦された者の中から各賞選考部会における検討結果を受けて表彰委員会で審議し、以下のとおり各賞の受賞候補者を決定した。

1. 功労賞 （敬称略 順不同）

功労賞は本協会の発展に貢献もしくははにおいに関する分野において特に優れた功績を認められた個人に贈呈することとし、受賞対象者は50歳以上の者に贈呈されるものである。受賞候補者は以下のとおりである。

○ 小西 和也 元荏原インフィルコ株式会社 / 現水ing株式会社

（受賞理由）

小西和也氏は、平成12年から現在にいたるまで12年間にわたって当協会の理事・監事として協会の運営発展に積極的に尽力されるとともに、臭気アドバイザー制度の創設に大きな貢献をされ、本人自身もアドバイザーとして活躍し協会の活動に貢献されました。

2. 学術賞

学術賞はにおいに関する一連の論文、著作等、学術的研究成果が特に優れた個人に贈呈することとし、受賞対象者は30歳以上の者に贈呈されるものである。受賞候補者は以下のとおりである。

○ 小早川 達 独立行政法人産業技術総合研究所 ヒューマンライフテクノロジー研究部門 マルチモダリティ研究グループ 主任研究員

（受賞理由）

小早川達氏は、人の味覚・嗅覚に関する脳磁場・脳電位・fMRI等の非侵襲計測法および心理物理学・心理学的手法を用いて、人の味覚・嗅覚に関する脳活動の解明や、味覚・嗅覚の感覚認知統合過程の解明に多大な貢献をされました。

3. 技術賞

技術賞は、個人又はグループで、においに関する調査研究又はにおい対策技術等に関して顕著な貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈されるものである。受賞候補者は以下のとおりである。

○ 株式会社 ガステック 代表取締役社長 小口博史

(受賞理由)

株式会社ガステックは、空気・窒素などの希釈ガスを定流量送ることによって微量濃度のガスを簡単かつ連続発生することができる校正用ガス調製装置を開発し、各種分析計の校正、消・脱臭実験の臭気発生源として利用され、臭気対策技術の発展に多大な貢献をされました。

4. におい・かおり環境賞

においの街づくりなどの良好なかおり環境の向上に顕著な貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈されるものである。受賞候補者は以下のとおりである。

○ 津野田 勲 フレグランスジャーナル社 代表取締役会長

(受賞理由)

津野田勲氏は、1973年のフレグランスジャーナル社創設以来、長年にわたり数々の香り関連の学術及び技術情報誌及び書籍を発刊され、我が国の香料、化粧品、食品等の産業の発展と文化の普及に積極的に活動されており、その貢献は多大なものであります。

○ 佐賀県 武雄市 市長 樋渡 啓祐 (ひわたし けいすけ)

(受賞理由)

武雄市は、レモングラスという新たな特産品を生み出し、産官学の連携体制を構築。芳香植物を中心に地域の多様な活性化、豊かさの実現につながる先進的な試みであり、良好なにおい・かおり環境の創出・保全、向上に貢献されました。

以上